

第 49 回通常会員総会開催をご案内致します。

第 49 回通常会員総会式次第

定款第 16 条に則り、下記次第にて第 49 回通常会員総会を開催致します。

ご欠席の会員の方々は、委任状をご送付くださいますよう、
お願い申し上げます。

(委任状は会長または出席理事の氏名をご記入願います)

2025 年 6 月

一般社団法人 日本映画テレビプロデューサー協会
会長 奥田 誠治

日 時 2025 年 6 月 25 日(水) 17 時 30 分開会
会 場 東映本社 8 階会議室 (東京都中央区銀座 3-2-17)
・ JR有楽町駅、地下鉄銀座駅下車 (C-6 出口が最寄)
マロニエゲート銀座 2&3 となり

議 事

開会の辞

物故者への黙禱

出席者数 (委任状) 総会成立

議長選出/挨拶 (会長)

第 1 号議案 (議決事項)

- (1) 2024 年度 一般会務報告及び事業活動報告について
- (2) 2024 年度 収支計算書、貸借対照表について
- (3) 2024 年度 監査報告

第 2 号議案 (議決事項)

- (1) 功労会員の推薦について

第 3 号議案 (2024 年度理事会決議報告)

- (1) 2025 年度 事業計画及び収支予算について

第 4 号議案 (議決事項)

- (1) 定款変更について
- (2) 任期満了に伴う理事・監事の選任について
- (3) その他

閉会の辞

(※ 総会当日、本議案書をご持参下さいますようお願いします)

第49回通常会員総会議案

第1号議案（議決事項）

- （1）2024年度 一般会務報告及び事業活動報告について
（2024年4月1日～2025年3月31日）

I 一般会務報告

1. 第48回通常会員総会を下記の通り開催した。

開催日時：2025年6月19日（水）17時30分

場所：東映本社8階会議室

出席者数 210人（委任状を含む 正会員・功労会員数378人、他に賛助会員数48人）

決議事項：以下第1号議案より第4号議案までいずれも全会一致で承認した。

第1号議案

- （イ）2023年度一般会務報告及び事業活動報告について
- （ロ）2023年度 収支計算書、貸借対照表について
- （ハ）2023年度 監査報告一口頭説明

第2号議案

- （イ）功労会員の推薦について

第3号議案（2024年度理事会決議報告）

- （イ）2024年度 事業計画及び収支予算について

第4号議案

- （イ）その他

2. 24年度は、理事会を9回、各事業委員会をのべ29回、改革プロジェクトを3回、開催した。

II 事業活動報告

1. 組織強化活動

持続可能な協会活動を担保し、いっそうの発展を期するために、「改革プロジェクト」を発足させ、3回の会合を実施。中間とりまとめ案を作成し、理事会に報告された。その結果、今後の方針として、①プロデューサー協会は、これまでのように映画会社・放送局が中心となって運営されるだけでなく、多様な映像コンテンツ制作者が幅広く参加できる団体になっていく必要がある。②プロデューサー協会の事業の一つとして、「プロデューサー人材の発掘と育成」を掲げ、日本の映像コンテンツ制作力の底上げを図るべきである。

る。の2点が確認され、2025年度事業計画で実施されることになった。

2025年3月31日現在会員数（ ）内は前年数

正会員	功労会員	賛助会員	合計
314（292）	98（112）	44（45）	456（449）

2. 広報活動

- （1） 会報委員会は＜ANPA・NOW＞を9回発行した。
特集記事とレギュラー欄の他に、協会主催の各種催しを取り上げ、会員はじめ関係各位に約400部を毎号配布した。
- （2） ホームページ上に会報を掲載し、さらに情報公開をすることにより一般に周知。
- （3） エランドール賞の式典は、今回も日本映画放送によって収録・放送された。

3. 国際交流関連

10月28日に行われた第37回東京国際映画祭の東京ドラマアワード2024の授賞式に、会員各氏が参加した。

4. 親睦交流活動

親睦委員会は会員並びに映画・テレビ関係者との交流・親睦を図る為、春と秋の親睦ゴルフ会を行った。

5. 総務関連

一部の連絡を郵便からメールに変更するなど、事務のDX化に着手した。

6. デジタル編集委員会関連

会員間の交流サイトを開設して活動がスタートして、2年目になる。
登録会員は50名前後で、サイト内での、情報交換、活動PRなどを通して会員相互の交流が活発化することが委員会の本旨である。いっそうの登録増加を図るため、利便性を高めるため、関係諸機関の連絡先の掲載などサイトの充実を図っている。

7. プロデューサーズ・カフェ

2月に在京各局の若手プロデューサーによる「ぶっちゃけトーク」を企画、準備したが、諸事情により、24年度内の開催は見合わせた。

8. アクターズセミナー

10月4日に、日比谷ミッドタウンに於いて開催、参加者は39名。

講師は会員の映画監督の中田秀夫氏、『スマホを落とすだけなのに』をテキストにワークショップを行い、4名（佐々木史帆、庄司浩平、竹田有美香、橘 優輝）を優秀賞に選出した。

受賞者は、エランドール賞の式典の中で表彰された。

9. 国際ドラマフェスティバル IN TOKYO 2024（支援事業）

当協会は東京ドラマアウォード2024の受賞作の選考に関与し、運営にあたってもサポートを行った。

2024年10月28日（月）17時～19時 於 東京プリンスホテル

* 授賞式

☆個人賞表彰

☆ローカル・ドラマ賞表彰

☆主題歌賞

☆作品賞 グランプリ

（連続ドラマ部門） 「V I V A N T」（TBS）

（単発ドラマ部門） 「デフ・ヴォイス法廷の手話通訳士」（NHK, KADOKAWA）

石坂浩二さんに代わり、今回は、三谷幸喜さん、有働由美子アナウンサーがMCを務めた。

10. その他の支援活動（支援事業）

日本アカデミー賞、毎日映画コンクールに選考委員を派遣し、積極的な支援活動を行った。

11. エランドール賞授賞式（顕彰事業）

2025年2月6日（木）17時より、京王プラザホテルにて授賞式を開催した。（コロナ禍以前の、協会新春パーティーとの兼行は、行わず）

協会会員、各メディア取材陣のおよそ200名が来場し、一般観客の入場は今年も諸事情を勘案し見合わせた。

来賓メッセージを都倉俊一文化庁長官からいただき、中原裕彦文化庁内閣官房内閣審議官が代読された。プレゼンターとして豪華ゲストが続々と登場し、盛会となった。

式典の様子は、今年も日本映画放送が収録3月に3回にわたって放送された。

テレビ各局の情報番組、スポーツ・芸能紙で大きく報じられ、エランドール賞の声価は、年々高まっている。

<受賞者一覧>

* プロデューサー賞・プロデューサー奨励賞 ☆田中・平田賞

・映画部門

プロデューサー賞「ラストマイル」新井順子（TBSスパークル）

プロデューサー奨励賞「正体」水木雄太（TBSスパークル）

・テレビ部門

プロデューサー賞

「虎に翼」尾崎裕和（NHK）

プロデューサー奨励賞

「不適切にもほどがある!」磯山晶 天宮沙恵子（TBSスパークル）

* 特別賞

「侍タイムスリッパ」

* 新人賞 ☆TV ガイド賞

（男女交互五十音順）

☆高橋文哉

☆河合優実

☆水上恒司

☆趣里

☆若葉竜也

☆松本若菜

※授賞式の中で、アクターズセミナーの優秀賞の表彰も行った。